

事業名	坂井総合産業テクノ ラボ(仮称)建築工事	事業箇所	坂井市坂井町宮領地係	検討委員会開催年度	平成25年度	担当課	建築住宅課営繕室
事業期間	H25.5～H27.1	工事期間	H26.2～H27.1	事業状態	工事実施中	・	工事完了
環境配慮事項と環境影響の概要 (該当する環境配慮事項の具体的影響)		決定された環境配慮の措置内容 (左記の影響に対する措置内容)		左記に対する実施状況			
3 大気環境等への配慮 (1) 大気環境の保全  (2) 騒音・振動の防止  4 水環境等への配慮 (5) 土壌汚染対策の推進  5 省資源・省エネルギーへの配慮 (1) 省資源・省エネルギーの推進  (2) 新エネルギーの導入  6 廃棄物の減量化と リサイクルの推進への配慮 (1) 廃棄物の発生抑制  (2) 再利用とグリーン購入の促進  (3) 廃棄物の適正処理の推進		排ガス対策型の重機を使用  基礎杭の埋込工法を採用  実施にあたり、土壌汚染対策防止法に基づき対応  複層ガラスを使用し、空調負荷の軽減を図る  太陽光パネルの設置  廃棄物の発生を抑制  砕石、アスファルト舗装に再生品を使用  廃棄物を適正処理		排出ガス対策型建設機械を使用した。  予め杭打ち箇所に杭径程度の削孔を行い、削孔中に既成杭を建て込む埋込工法を採用し、低騒音・低振動を図った。  坂井健康福祉センターへ届出を提出した。  複層ガラスを使用し、空調負荷の軽減を図った。  テクノラボⅢの屋根に10kwの太陽光パネルを設置した。  掘削土は埋戻し土として再利用するなど、建設発生材を再利用することで、廃棄物の発生抑制に努めた。  再生砕石および再生アスファルトを使用した。  産業廃棄物管理票により適正に管理した。			
添付図書	環境配慮実施状況の説明写真、図面等						

**大気環境の保全**

建設時に発生する排ガスを抑制するため、排ガス対策型の重機を使用した。



**新エネルギーの導入**

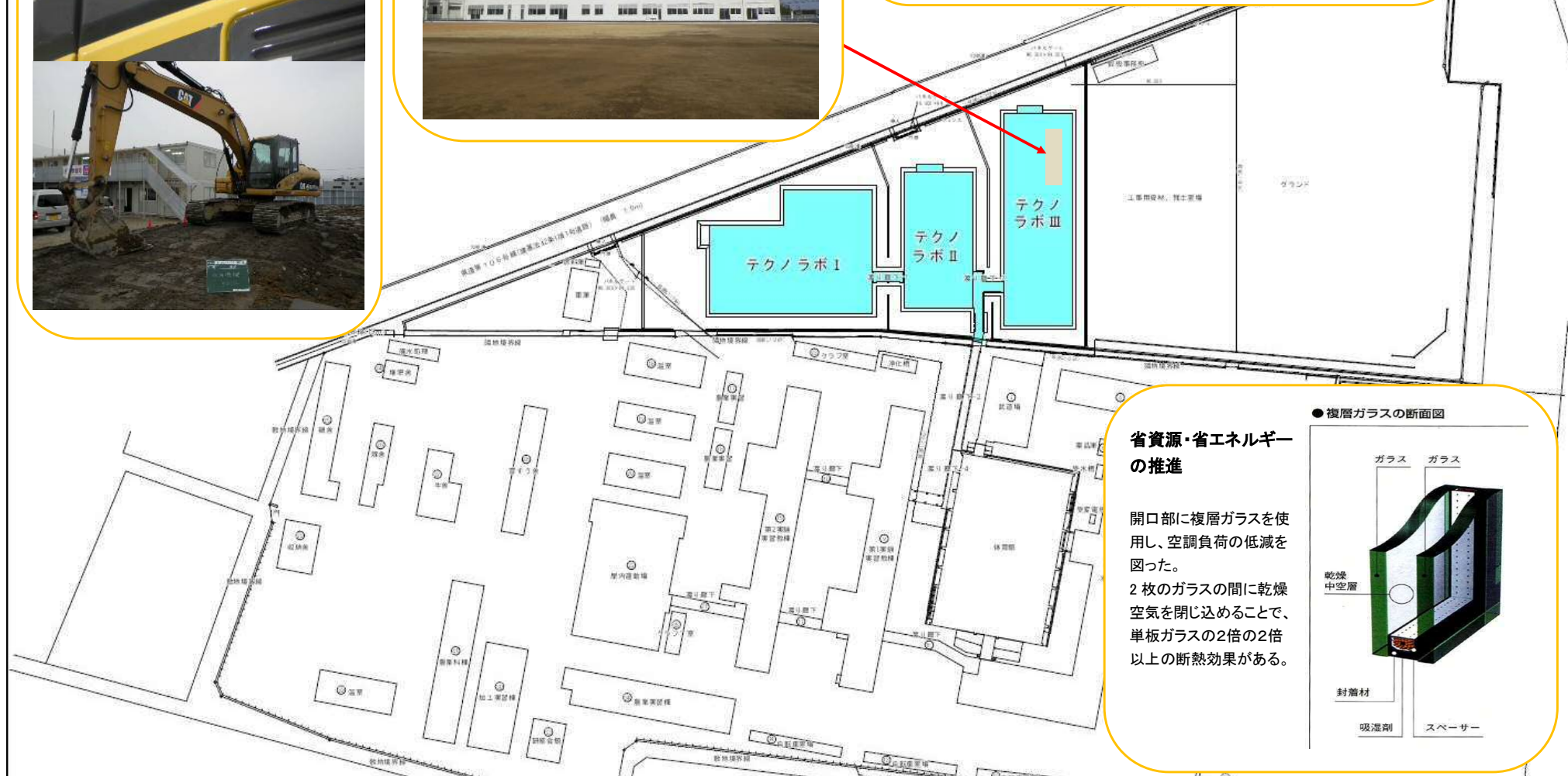
テクノラボⅢの屋根に太陽光パネルを10kw設置した。



**騒音・振動の防止**

埋込工法を採用し低騒音・低振動を図った。

埋込工法とは、予め杭打ち箇所に杭径程度の削孔を行い、削孔中に既成杭を建て込む工法。杭頭をハンマーで打ち込む打撃工法より、はるかに低騒音・低振動で施工できた。



**省資源・省エネルギーの推進**

開口部に複層ガラスを使用し、空調負荷の低減を図った。

2枚のガラスの間に乾燥空気を閉じ込めることで、単板ガラスの2倍の2倍以上の断熱効果がある。

●複層ガラスの断面図

